



台湾評鑑協会 (Taiwan Assessment and Evaluation Association, TWAEA) は、「評価に関する知識と技術の開発・促進」、「専門的な評価サービスの提供」を使命とする非営利組織として、2003年に設立されました。近年では、国際的な質保証機関ネットワークに積極的に参画する以外にも、日本、香港、マカオ、ニュージーランド、ドイツ、ロシア等の質保証機関とさまざまな国際協力交流事業を実施しています。(INQAAHE Aligned Agency, 2024 認定)

タイ国家教育水準・質評価局 (Office for National Education Standards and Quality Assessment, ONESQA) は、タイのすべての教育機関に対する第3者評価を実施するために2000年に設立された公的機関です。国際的な質保証機関ネットワークに参画するほか、アジアのみならず欧米の質保証機関と協力関係を築き、国際的な活動にも取り組んでいます。

モンゴル教育評価協議会 (Mongolian National Council for Education Accreditation, MNCEA) は、1998年に独立法定機関として設立されました。質保証、認定、国家資格枠組み (NQF) における政策の一貫性を確保することにより、高等教育及び職業訓練教育の質を向上させることを目的として、高等教育機関、技術・職業教育機関及びプログラムの認定を行っています。

大学基準協会 (Japan University Accreditation Association, JUAA) は、アメリカのアクレディテーション団体をモデルに1947年に設立された自立的な大学団体です。目的に「会員の自主的努力と相互的援助によって、わが国における大学の質的向上を図る」ことを掲げ、「大学基準」の制定や各種の評価、調査研究などの諸活動を通じて、高等教育の質の向上に努めてきました。2004年に認証評価制度が導入されてからは、大学、短期大学及び専門職大学院の認証評価を行うほか、獣医学や歯学教育の分野別評価も実施しています。このほか、大学の国際化支援と評価の国際通用性の確保に向けて、国際的な質保証機関ネットワークに加盟し、各国・地域の評価機関と連携を図り、職員の合同研修や共同学生調査にも取り組んでいます。(INQAAHE Aligned Agency, 2023 認定)



〒162-0842
東京都新宿区市谷砂土原町 2-7-13
TEL: 03 5228 2020 (代表)
03 6228 1315 (国際企画室)
E-mail: intl@juaa.or.jp



International Joint Accreditation Project

共同認証プロジェクト



教育の質の保証を 求められる時代



国際教養大学
鈴木 典比古 前学長

大学教育国際化の必要性が詠われて久しいが、その具体策となると共通の方向を見出すのは容易ではありません。しかし、そんな中でも各国で大学教育の質保証を行う認証機関の国際協力は、言わば大学教育の実質的な質の検証とその保証という作業を共通の項目に沿って行うという点で、現在のところ最も基本的な大学教育の国際的質保証の枠組みと言えるでしょう。大学基準協会では、台湾の質保証機関である台湾評鑑協会と国際的協力枠組みである iJAS(International Joint Accreditation Standards) を構築し、日本と台湾の大学教育の認証評価を行いました。その評価対象になったのは、日本では国際教養大学、台湾では嘉南薬理大学でした。これは日本の大学評価機関の実質的国際化活動の第一歩です。

両大学は両国の混成評価チームを受け入れて1日に渡り6つの評価基準による詳細な審査を受けました。結果は両大学とも国際的な教育内容と水準に適合しているという判定でした。このような経験は海外交流に慣れている本学教職員も初めてのことで学内に緊張感が漲り受審準備に多大の時間を要しました。こうした体験は今後日本の大学でも不可欠のものとなるでしょう。個々の大学間国際交流に当たっても海外の相手校から、どこの認証評価機関の評価を受けているのか、教育の質の保証を求められる時代に入っています。

(2019 年度認定校)



嘉南薬理大学
Dr. Hong-Chu Chen 前学長

国際的な知名度を高めるための 大きな一歩

世界中の多くの高等教育機関は少子化問題に直面しており、台湾もその例外ではありません。台湾の多くの大学では、持続的に発展するために自校の特色や位置付けをあらためて見直し、どうすれば本質的な面から改善を促し、質の良い教育を行い産業のニーズを満たせる優れた人材を育成することができるのかが重要な課題になっています。嘉南薬理大学は、国際的な競争力を高めるために、外国人留学生の募集だけではなく、本学の学生が国際舞台へはばたけるよう積極的に支援しています。

国際的な大学になるには、国際的な質保証制度に参加する必要があり、国際共同認証プロジェクトを通じて、大学の特徴と発展計画、教育の質保証の有効性、研究や産学連携の成果、社会貢献の実績などを国際的な基準と視点で評価される必要があると考えます。

嘉南薬理大学は創立 53 年になります。これまでに 200 以上の大学と交流協定を締結し、留学コース、ダブルディグリーなどの学習の機会を学生に提供してきました。2019 ～ 2021 年の CWUR 世界大学ランキングで嘉南薬理大学はトップ 10%に入ることができました。今回の iJAS 認証取得で、国際的な知名度を高めるための大きな一歩を踏み出すことができたと思います。

(2019 年度認定校)

共同認証プロジェクトの詳細については、大学基準協会ホームページに特設サイトを設けています。詳しい評価基準や評価プロセスについてご覧ください。



受審校からのメッセージ

共同認証プロジェクトについて

2018 年、大学基準協会と台湾評鑑協会は、日本と台湾の高等教育を取り巻く環境に対する相互理解を促し、国際協力をさらに進展させるため、日本と台湾の大学を対象とした共同認証プロジェクトを立ち上げました。本プロジェクトに参画し、認証された大学は、国際的に質を保証されたことのみならず、本プロジェクトを通じて、大学教育の国際化という新たな局面においてその優位性の向上に寄与していくことが期待されます。2021 年からはタイの ONESQA、2024 年にはモンゴルの MNCEA が加わり、4 機関で展開しています。本プロジェクトによる効果として以下の点を挙げることができます。



国際的質保証

海外の質保証機関
による評価

内部質保証

海外の大学との
協定締結時の指針



国際的水準の確保

国際的な認知度の向上

優秀な学生や
研究者の獲得

教育の国際的通用性

単位互換



国際的な取組の推進

大学の国際交流の促進

ジョイントディグリー /
ダブルディグリー構築
の際の指針

共同認証評価基準

Standard 1	Mission, Goals & Strategy	Standard 2	Internal Quality Assurance
Standard 3	Teaching & Learning	Standard 4	Faculty
Standard 5	Social Connection	Standard 6	Governance



混成チームによる評価

評価チームは、5 名の評価者で編成します。日本の大学が申請した場合には、日本の評価者が 1 名、主査を含む他 4 名は、他機関から招聘された海外の評価者で構成されます。



幅広い識見による評価

評価者は、現職の大学執行部（あるいは経験者）、高等教育・IR等の研究者、事務職員（上級管理職）のほか、高等教育に深い見識を持つ企業の上級管理者が務めます。これにより、評価者から幅広い意見を聞くことができます。



国際化を目指す大学の発展を支援

国際化の推進を目指している大学にとって、海外からの評価を受けることで、大学の理念・目的や将来計画の達成に向けた更なる発展のための助言を受けることができます。将来、認証校間のネットワーク構築を目指しています。

評価手数料：1 大学あたり 10,000 米ドル

※これに消費税を加えた金額とします。このほか、評価に係る評価者の旅費・宿泊費等は、その実費を申請大学が負担するものとします。

評価の特徴